



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 33 号
令和 2年10月28日

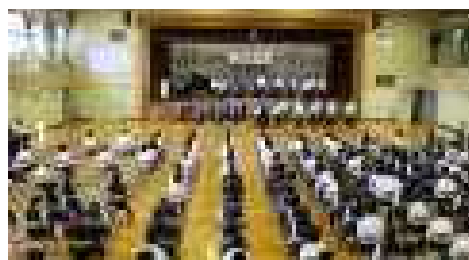
魂を響かせた合唱コンクール①

校長 古市 直彦

10月27日(火)、元__中学校長の__先生を講師にお迎えし、今年も合唱コンクールを開催することができました。当日の開会式の中で生徒の皆さんにはお伝えしましたが、今年は、例年と違い新型コロナウイルス感染の恐れがあったため、合唱練習を始めるのが、ずいぶん遅れてしまいました。練習が始まって、「密」避けるためにかなり間隔をとったり、ひとクラスが2箇所に分かれて練習したりする必要がありました。CDの音や友達の声も聞き取りにくく、音をとったり、声を合わせたりするのも大変でした。あるクラスが体育館のステージで練習をしているときに、私もステージ袖でこっそり一緒に歌ってみたこともあるのですが、それは歌いにくいなの…。そんな状況なのによく頑張っているなあと、改めて生徒の皆さんの素晴らしさを感じていました。

コンクールの本番では、どのクラスも練習の成果を発揮して、自分たちの納得のいく、今までで一番素晴らしい演奏をしようという意気込みを感じる、魂のこもった発表で、スローガンの「合唱魂」を見事に達成できていたように感じました。

結果は下表（敬称略）の通りとなりましたが、どの学年・学級もほとんど差のない、素晴らしい演奏でした。



	1 年 生	2 年 生	3 年 生
金 賞	4組 __学級	3組 __学級	3組 __学級
銀 賞	2組 __学級	1組 __学級	4組 __学級
ナイスハーモニー賞	8組 藤原・葛岡・高梨学級		
指揮者賞	6組 _____	1組 _____	2組 _____、5組 _____
伴奏者賞	5組 _____	2組 _____	1組 _____、2組 _____

更に、閉会式では、講師の__先生が次のような講評をしてくださいました。

多くの大切な行事を取りやめる学校が多い中、若松中学校では、生徒の皆さん、保護者・先生方の協力で立派に合唱コンクールを実施していただくことができましたことに敬意を表します。練習時間が絶対的に少ない中、みなさん、とてもよく練習したんだと今日の発表を聞いて感じました。学年が上がるにつれて上手になっていましたし、特に3年生は質の高い演奏をしていて、審査員を悩ませてくれました。

今後に生かして欲しい点を3点あげておきます

- ①呼吸法を意識すると良いです。プレスが浅くなると強い音・高い音、長い音が難しくなります。深いプレスをする、心を静めることもできます。
- ②歌うことは訴えることが語源です。母音子音の発音を、オーバーにデフォルメ（誇張）するようにすると伝わりやすくなります。表現力をアップするために、うまくデフォルメしましょう。
- ③曲の難易度と曲の完成度のバランスを考えましょう。やさしい曲を完成させるか、難しい曲で完成できないで終わるか、重要なことです。



合唱コンクールを通して、学級や個人がどう成長したかが、行事をする意味合いでもあります。トラブルがいろいろあったようですが、他人と過去は変えられません。変えられるのは自分と未来です。今後、トラブルが起きたときにも、自分を変えるチャンスとしてのトラブルが起きたんだなととらえてくれると大きな成長につながるでしょう。

みんなのためによく働いてくれた実行委員会の人、指導してくれた音楽の先生や担任の先生、応援してくれた地域の方、クラスの仲間などに感謝してこの合唱コンクールを終えられると素晴らしいですね。

速報として3年生の発表の様子を紹介します。他のクラスは、次号でお知らせする予定です。

